

令和 8 年 4 月 24 日

各大学関係学部長 殿

新潟大学理学部長  
高 澤 栄 一

令和 8 年度単位互換制度による公開臨海実習について

佐渡自然共生科学センター臨海実験所におきまして、実施要領（別紙）により、佐渡・国際臨海コース（令和 8 年 7 月 23 日～27 日）、佐渡・海洋生物学コース（令和 8 年 8 月 17 日～22 日）、佐渡・森里海の連携学コース（令和 8 年 9 月 7 日～12 日）、佐渡・発生／行動学コース（令和 9 年 3 月 1 日～5 日）を実施いたします。

つきましては、貴学部に参加を希望する学生がいましたら、下記書類をそろえて各コースの締め切り日までに、新潟大学自然科学系理学部事務室学務係へご送付願います。

なお、本実習に参加する国立大学法人大学の学生は、単位互換制度による「特別聴講学生」として受け入れ、相互に授業料を不徴収とすることになりますので、あらかじめご了承をお願いいたします。

また、公立大学や私立大学の学生については、単位の認定はできませんが、受講許可証ならびに受講証明書を発行します。所定の手続きを経て、所属大学の単位として認定されることを期待しています。

受入れの決定は、応募締め切り後できるだけ速やかに行いますが、定員超過の際には選考を本学部に一任願います。

記

1. 特別聴講学生入学志願書（別紙様式）
2. 学部長推薦書（様式任意）
3. 健康診断書（学内保健管理センター等の証明でも可）
4. 学生教育研究災害傷害保険加入証明書  
[領収書の写し又は所属大学の証明書（様式任意）]

\*学生に、下記の公開臨海実習申込フォームに記入・送信するようにお伝えください。

<https://forms.office.com/r/EnS8TL3XKr>

令和8年度 公開臨海実習実施要領

1. 授業科目： 臨海実習 II
2. 単位数： 2単位
3. 開講期間： **【佐渡・国際臨海実習コース】**  
令和8年7月23日（木）～7月27日（月） 5日間  
（応募期間：令和8年4月28日（火）～6月12日（金））  
**【佐渡・海洋生物学コース】**  
令和8年8月17日（月）～8月22日（土） 6日間  
（応募期間：令和8年4月28日（火）～7月10日（金））  
**【佐渡・森里海の連携学コース】**  
令和8年9月7日（月）～9月12日（土） 6日間  
（応募期間：令和8年4月28日（火）～7月31日（金））  
**【佐渡・発生/行動学コース】**  
令和9年3月1日（月）～3月5日（金） 5日間  
（応募期間：令和8年10月10日（土）～令和9年1月22日（金））
4. 開講場所： 新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所  
〒952-2135 新潟県佐渡市達者 87
5. 指導教員： 安東宏徳（臨海実験所・教授）、大森紹仁（臨海実験所・准教授）、川坂健人（臨海実験所・特任助教）
6. 協力教員： 各コースに1名の外部講師を任用予定
7. 対象学生： 国公立大学の学部1～4年生（大学院生も可）
8. 定員： 約6名（国際臨海実習コース）、  
約10名（海洋生物学コース・森里海の連携学コース・発生/行動学コース）
9. 日程及び実習内容（予定）：  
**【佐渡・国際臨海実習コース】**  
『International Marine Biology Course』 7月23日（木）～7月27日（月）
  - 1日目 佐渡島・両津港集合後、臨海実験所に移動、オリエンテーション、  
講義「佐渡の海の特徴と海洋生物の多様性」
  - 2日目 磯の生物のシュノーケリング採集、海洋プラスチックの採集と観察、  
外国人研究者による特別講義①、ウミホタルの生物発光の観察
  - 3日目 外国人研究者による特別講義②、実習船によるプランクトンの採集、

海洋データの計測、トキ野生復帰事業に関する施設の見学

- 4 日目 外国人研究者による特別講義③、採集した海洋生物の観察と同定、グループワーク、研究発表会
- 5 日目 両津港にて解散

#### 【佐渡・海洋生物学コース】

『海洋生物多様性実習』 8月17日(月)～8月22日(土)

- 1 日目 佐渡島・両津港集合後、臨海実験所に移動、  
講義「佐渡の海の特徴と海洋生物の系統関係」、夜行性海洋生物の灯火採集
- 2 日目 実習船によるプランクトンの採集、磯の生物のシュノーケリング採集
- 3 日目 砂泥海岸でのベントスの採集、ウミホタルの採集と生物発光の観察
- 4 日目 磯の生物の方形枠調査、採集した海洋生物の観察と同定
- 5 日目 調査結果の集計とまとめ、研究発表会
- 6 日目 トキ野生復帰事業に関する施設の見学、両津港にて解散

#### 【佐渡・森里海の連携学コース】

『森里海をつなぐ野外生態学実習』 9月7日(月)～9月12日(土)

- 1 日目 佐渡島・両津港集合後、新潟大学佐渡自然共生科学センター朱鷺・自然再生学研究施設(トキ交流会館)に移動、里山とトキの野生復帰に関する講義
- 2 日目 耕作放棄地を利用した自然再生現場での生物調査、  
野生復帰したトキの生息環境の見学、臨海実験所に移動
- 3 日目 講義「佐渡の海の特徴と海洋生物の系統関係」、シュノーケリングによる磯採集、  
海に生息する生物の観察・分類・同定、夜行性海洋生物の灯火採集
- 4 日目 佐渡の河川の生物に関する講義、河川での生物採集と観察、  
新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林に移動、佐渡島の植生に関する講義
- 5 日目 演習林における人工林、針広混交林、溪畔林の観察、スギ天然林や風衝地の植生  
観察、牛の林間放牧による植生変化の観察
- 6 日目 大野亀にて植生見学と散策、両津港にて解散

#### 【佐渡・発生/行動学コース】

『動物発生/行動学臨海実習』 3月1日(月)～3月5日(金)

- 1 日目 佐渡島・両津港集合後、臨海実験所に移動、  
講義「佐渡の海の特徴と海洋生物の多様性」、実験ガイダンス
- 2 日目 外部講師による動物発生学または行動生態学に関する特別講義、  
ウニの受精と初期発生の観察、ウニ初期胚の動物極化および植物極化実験
- 3 日目 海洋生物の外部形態および内部形態の観察、海洋生物の行動観察実験
- 4 日目 岸壁でのたも網を用いた海洋生物の採集と観察、研究発表会
- 5 日目 両津港にて解散

1 0. 費用：実習期間中にかかる経費（施設使用料・食費・寝具クリーニング代）。

【佐渡・国際臨海実習コース】 約 12,000 円

【佐渡・海洋生物学コース】 約 15,000 円

【佐渡・森里海の連携学コース】 約 18,000 円

【佐渡・発生/行動学コース】 約 12,000 円

1 1. 受講の可否：書面とメールにより本人に直接連絡する。また、受講に必要な事項や実験所へのアクセスについては、事前にメールにより通知する。志願書のメールアドレス欄には、新潟大学からのメールと PDF などの添付ファイルを受け取れるアドレスを記入すること。

1 2. 問い合わせ先：

受講内容について

新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所 安東宏徳

〒952-2135 新潟県佐渡市達者 87

Tel: (0259) 75-2012、Fax: (0259) 75-2870

E-mail: hando311@cc.niigata-u.ac.jp

<http://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/sadomarine/index.html>

参加申し込み及び受講手続きについて

新潟大学自然科学系理学部事務室学務係

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地

Tel: (025) 262-6107、Fax: (025) 262-6354

E-mail: gakumu@ad.sc.niigata-u.ac.jp

\* 参加を希望する学生は、所属大学での申し込み手続きとあわせて下記の公開臨海実習申込フォームから登録をすること。

<https://forms.office.com/r/EnS8TL3XKr>

## 令和8年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	佐渡・国際臨海実習コース「International Marine Biology Course」		
実習内容	<p>本実習では、多様な海岸環境が見られる佐渡島の美しい海を舞台に、アジア各国の大学生・大学院生とともに海洋生物の多様性とその進化について学ぶ。磯でのシュノーケリングを始めとする様々な手法で生物を採集し、観察・同定を通して海洋生物の多様性とその進化について学ぶ。また、海洋マイクロプラスチックの採集やトキの野生復帰事業に関連する施設の見学を通して、人間活動と生態系のかかわりについて学ぶ。最後に、観察結果をグループで討論・発表し、参加各国の学生間の国際交流を深める。</p> <p>【海洋生物採集・観察】 シュノーケリングによる磯生物の観察・採集          たも網を用いた岸壁での夜行性海洋生物の灯火採集          実習船によるプランクトンネットを用いたプランクトン採集と海洋データの計測          ウミホタルの採集および生物発光の観察          砂浜海岸でのマイクロプラスチックの採集と観察</p> <p>【講義】 佐渡の海の特徴と海洋生物の多様性、系統分類、外部講師による特別講義</p> <p>【発表会】 グループおよび個人による、生物の観察結果・考察の発表</p> <p>※ 本実習はアジア諸国の大学生を対象とする国際臨海実習との合同開催であり、基本的に英語で進行する。ただし、必要に応じて日本語によるサポートも行うため、学部生でも参加可能である</p>		
実習内容キーワード	シュノーケリング、磯採集、プランクトン、生物多様性、進化、形態、系統分類、海洋観測		
担当教員氏名・所属・役職名	安東宏徳（臨海実験所・教授）、大森紹仁（臨海実験所・准教授）、川坂健人（臨海実験所・特任助教）		
協力教員氏名・所属・役職名	国内外の大学から複数名の外部講師を任用予定		
対象学生・学年	国公立大学の学部1～4年生（大学院生も可）	開講期間	2026年7月23日(木)～27日(月) 4泊5日 (海外からの学生の入入れ状況により、中止または日程を変更する可能性がある)
開講大学・施設名	〒952-2135 新潟県佐渡市達者 87		
施設の住所	新潟大学・佐渡自然共生科学センター臨海実験所		
電話	0259-75-2012	F a x	0259-75-2870
e-mail	hando311@cc.niigata-u.ac.jp	Web Site	<a href="https://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/sadomarine/">https://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/sadomarine/</a>
交通案内	新潟港から佐渡汽船を利用して佐渡島に渡り、佐渡両津港にて集合。両津港－臨海実験所間の移動は、実験所がチャーターバスを用意する（無料）。直江津－小木航路の利用については、事前連絡があれば公用車で小木港までの送迎を行う。		
費用	約 12,000 円（施設使用料、実習期間中の食費、寝具クリーニング代）		
授業科目名	臨海実習 II		
単位数	2 単位	定員数	約 6 名
授業料の徴収について	授業料は徴収しない。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	<p>申込締切：2026年6月12日（金）</p> <p>応募書類は期日までに新潟大学理学部学務係へ必着。定員を超えた場合は、締め切り後に抽選により決定する。申し込み方法の詳細は臨海実験所ウェブサイトの「公開臨海実習」ページを確認すること。</p>		
選抜結果連絡法	書面とメールにより本人に直接連絡する		

## 令和8年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	佐渡・海洋生物学コース「海洋生物多様性実習」		
実習内容	<p>佐渡島には、多様な海岸環境とそれに伴う様々な海洋生物の生態系が豊かな自然とともによく保存されている。また、潮位差の小さな日本海に位置する佐渡では、太平洋側と異なる磯生物の生態と分布様式を見ることが出来る。本実習では、磯でのシュノーケリングをはじめとする様々な手法を用いて採集した生物を観察・同定し、10門15綱20種のスケッチを行うことで海洋生物の系統や形態の多様性について学ぶ。また、実習最終日はトキの野生復帰事業に関する施設を見学し、佐渡島における環境保全の取り組みと森里海の生態系のつながりについて理解を深める。</p> <p>【海洋生物採集・観察】 シュノーケリングによる磯生物の観察・採集          たも網を用いた岸壁での夜行性海洋生物の灯火採集          シャベルとふるいを用いた砂泥海岸での底生生物採集          実習船によるプランクトンネットを用いたプランクトンおよび魚類仔稚魚の採集          ウミホタルの採集および生物発光観察</p> <p>【生態調査】 方形枠を用いた磯生物の帯状分布の調査・データ解析</p> <p>【発表会】 個人での磯生物についての発表、およびグループでの帯状分布調査結果発表</p>		
実習内容キーワード	シュノーケリング、磯採集、プランクトン、ベントス、種多様性、進化、形態、系統分類、環境適応		
担当教員氏名・所属・役職名	安東宏徳（臨海実験所・教授）、大森紹仁（臨海実験所・准教授）、川坂健人（臨海実験所・特任助教）		
協力教員氏名・所属・役職名			
対象学生・学年	国公立大学の学部1～4年生 (大学院生も可)	開講期間	2026年8月17日(月)～22日(土) 5泊6日
開講大学・施設名	〒952-2135 新潟県佐渡市達者 87		
施設の住所	新潟大学・佐渡自然共生科学センター臨海実験所		
電話	0259-75-2012	F a x	0259-75-2870
e-mail	hando311@cc.niigata-u.ac.jp	Web Site	<a href="https://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/sadomarine/">https://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/sadomarine/</a>
交通案内	新潟港から佐渡汽船を利用して佐渡島に渡り、佐渡両津港にて集合。両津港－臨海実験所間の移動は、実験所がチャーターバスを用意する（無料）。直江津－小木航路の利用については、事前連絡があれば公用車で小木港までの送迎を行う。		
費用	約 15,000 円（施設使用料、実習期間中の食費、寝具クリーニング代）		
授業科目名	臨海実習Ⅱ		
単位数	2 単位	定員数	約 10 名
授業料の徴収について	授業料は徴収しない。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	申込締切：2026年7月10日（金） 応募書類は期日までに新潟大学理学部学務係へ必着。定員を超えた場合は、締め切り後に抽選により決定する。申し込み方法の詳細は臨海実験所ウェブサイトの「公開臨海実習」ページを確認すること。		
選抜結果連絡法	書面とメールにより本人に直接連絡する		

## 令和8年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	佐渡・森里海の連携学コース「森里海をつなぐ野外生態学実習」		
実習内容	<p>豊かな自然に恵まれた佐渡島は、森林、里地・里山、海、それらをつなぐ川が“ぎゅっと”と凝縮された、森里海の生態系を短期間に学ぶことができる貴重なフィールドである。本実習では、新潟大学佐渡自然共生科学センターの演習林と朱鷺・自然再生学研究施設の教員の協力の下で、佐渡島にある森・里・海の様々な環境でフィールドワークを行い、生物多様性やそれぞれの環境における生物群集の特徴と生態系間のつながり、そして人間の社会活動と生物との関係について学ぶ。</p> <p>【森（新潟大学佐渡自然共生科学センター演習林）】</p> <p>1) 演習林での人工林、針広混交林の観察、2) 溪畔林やスギ天然林、風衝地の植生観察 3) 牛の林間放牧による植生変化の観察、</p> <p>【里（新潟大学佐渡自然共生科学センター朱鷺・自然再生学研究施設）】</p> <p>1) トキの野生復帰と里山に関する講義、2) 耕作放棄地を利用した自然再生現場での調査 3) 野生復帰したトキの生息環境の見学</p> <p>【海（新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所）】</p> <p>1) シュノーケリングによる磯生物の観察・採集、2) 岸壁での夜行性海洋生物の灯火採集 3) 採集した生物の観察・分類・同定、4) 河川での環境・水生生物の調査</p>		
実習内容キーワード	トキ、環境、里山、天然林、川、岩礁、人と自然との関わり、生態系、生物多様性、磯採集、シュノーケリング、トレッキング		
担当教員氏名・所属・役職名	安東宏徳（臨海実験所・教授）、大森紹仁（臨海実験所・准教授） 川坂健人（臨海実験所・特任助教）、阿部晴恵（演習林・准教授）、 本間航介（演習林・准教授）、蕪木史弦（演習林・特任助教）、 河口洋一（朱鷺・自然再生学研究施設・教授）、 高津邦夫（朱鷺・自然再生学研究施設・准教授）、 永田尚志（朱鷺・自然再生学研究施設・フェロー）		
協力教員氏名・所属・役職名	1名の外部講師を任用予定		
対象学生・学年	国公立大学の学部1～4年生（大学院生も可）	開講期間	2026年9月7日(月)～12日(土) 5泊6日
開講大学・施設名	〒952-2135 新潟県佐渡市達者 87		
施設の住所	新潟大学・佐渡自然共生科学センター臨海実験所		
電話	0259-75-2012	F a x	0259-75-2870
e-mail	hando311@cc.niigata-u.ac.jp	Web Site	https://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/sadomarine/
交通案内	新潟港から佐渡汽船を利用して佐渡島に渡り、佐渡両津港にて集合。両津港－臨海実験所間の移動は、実験所がチャーターバスを用意する（無料）。直江津－小木航路の利用については、事前連絡があれば公用車で小木港までの送迎を行う。		
費用	約 18,000 円（施設使用料、実習期間中の食費、寝具クリーニング代）		
授業科目名	臨海実習Ⅱ		
単位数	2単位	定員数	約 10名
授業料の徴収について	授業料は徴収しない。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	申込締切：2026年7月31日（金） 応募書類は期日までに新潟大学理学部学務係へ必着。定員を超えた場合は、締め切り後に抽選により決定する。申し込み方法の詳細は臨海実験所ウェブサイトの「公開臨海実習」ページを確認すること。		
選抜結果連絡法	書面とメールにより本人に直接連絡する		

## 令和8年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	佐渡・発生／行動学コース「動物発生／行動学臨海実習」		
実習内容	<p>豊かな自然環境と生物相が残る佐渡島では、多様な海洋生物が様々な沿岸環境に適応しながら生息している。生物の形態や行動、発生のしくみは、その生物の生息環境への適応の結果として進化、発達してきた。本実習では、ヒトと同じ新口動物で卵割様式がヒトに近い棘皮動物バフンウニを用いて、人工受精と胚発生の観察を行うことで、後生動物の発生機構について学修するとともに、各種薬剤処理実験によって、発生におけるシグナル伝達の仕組みと薬剤による環境かく乱の発生への影響について考察する。また、魚類を題材に海洋動物の行動・生態研究の基礎的手法について学ぶ。実習は少人数グループに分かれて行い、最後にグループでの成果発表会を行う。</p> <p>【発生学実験】 バフンウニの受精と初期発生の観察 ウニ初期胚の動物極化および植物極化実験</p> <p>【行動学実験】 海洋生物（魚類）の個体標識と行動観察</p> <p>【海洋生物の採集・観察】 岸壁でのたも網を用いた海洋生物の採集 海洋生物の外部・内部形態の観察と同定、スケッチ</p> <p>【講義】 外部講師による動物の発生および行動に関する特別講義</p> <p>【発表会】 グループでの研究および観察結果の発表</p>		
実習内容キーワード	生物機能の多様性、環境適応、発生、シグナル伝達、環境かく乱、行動		
担当教員氏名・所属・役職名	安東宏徳（臨海実験所・教授）、大森紹仁（臨海実験所・准教授）、川坂健人（臨海実験所・特任助教）		
協力教員氏名・所属・役職名	1名の外部講師を任用予定		
対象学生・学年	国公立大学の学部1～4年生（大学院生も可）	開講期間	2027年3月1日(月)～5日(金) 4泊5日
開講大学・施設名	〒952-2135 新潟県佐渡市達者 87		
施設の住所	新潟大学・佐渡自然共生科学センター臨海実験所		
電話	0259-75-2012	F a x	0259-75-2870
e-mail	hando311@cc.niigata-u.ac.jp	Web Site	<a href="https://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/sadomarine/">https://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/sadomarine/</a>
交通案内	新潟港から佐渡汽船を利用して佐渡島に渡り、佐渡両津港にて集合。両津港－臨海実験所間の移動は、実験所がチャーターバスを用意する（無料）。なお、直江津－小木航路は冬季運休につき利用できない。		
費用	約 12,000 円（施設使用料、実習期間中の食費、寝具クリーニング代）		
授業科目名	臨海実習Ⅱ		
単位数	2単位	定員数	約 10名
授業料の徴収について	授業料は徴収しない。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	<p>申込開始：2026年10月10日（土） 申込締切：2027年1月22日（金）</p> <p>応募書類は期日までに新潟大学理学部学務係へ必着。定員を超えた場合は、締め切り後に抽選により決定する。申し込み方法の詳細は臨海実験所ウェブサイトの「公開臨海実習」ページを確認すること。</p>		
選抜結果連絡法	書面とメールにより本人に直接連絡する		

